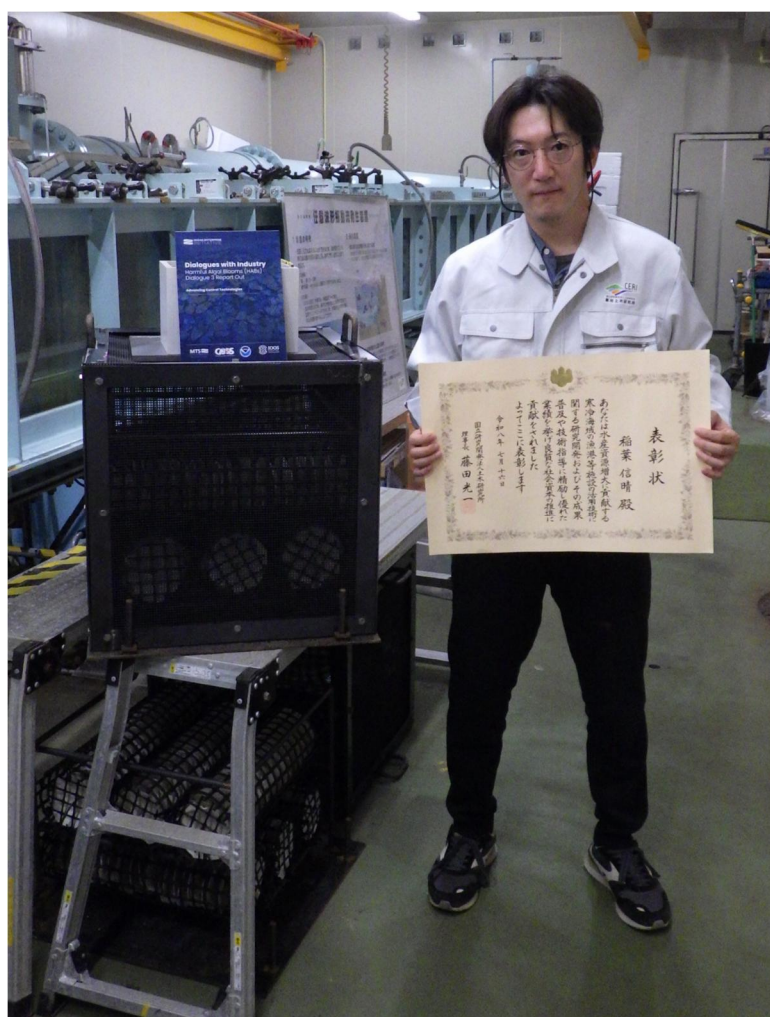


稲葉信晴主任研究員が業績表彰を授与されました

令和 8 年 7 月 16 日、寒地土木研究所講堂において、令和 8 年度国立研究開発法人土木研究所寒地土木研究所 優良業務表彰授与式及び業績表彰・永年勤続表彰伝達式が行われ、水産土木チームの稲葉信晴主任研究員が業績表彰を受賞しました。

稲葉主任研究員は、水産資源の増大に貢献する寒冷海域の漁港等施設の活用技術に関する研究開発に取り組むとともに、その成果普及や技術指導に精力的に取り組み、優れた業績を挙げました。これらの取組を通じて、良質な社会資本整備の推進に貢献したことが高く評価されたものです。



主な成果は、次のとおりです。

・マナマコ中間育成礁「ナマコのゆりかご」の研究開発・普及の主導的役割

・藻場を活用した赤潮の発生しにくい環境の創出手法に関する研究成果は、ユネスコ政府間海洋学委員会（IOC-UNESCO）が主導する全球海洋観測システム（GOOS）や米国海洋大気庁（NOAA）等の国際機関の主導により立ち上げられたプロジェクトの報告書『Dialogues with Industry: Harmful Algal Blooms』に反映され、さらには、国際学術誌『Harmful Algae』に掲載された総説論文の著者として執筆に参加するなど、これまで取り組んできた研究成果を広く世界に向けて発信

今後も水産土木チームでは、漁港等施設を活用した水産資源の増大や水産業の持続的な発展に貢献する研究開発を推進してまいります。